



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		新品種生産の普及・定着。							
指標	指標名	新品種の作付面積 (ha)						指標の種類	
	指標式	新品種の作付面積 (ha)						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値 (見込まれる成果による指標)								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a					3	25		25
	実績b	0	データ等の出典						
	東北 全国		第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン						
把握する時期		当該年度中 03月		翌年度 月		翌々年度 月			

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値 (見込まれる成果による指標)								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b		データ等の出典						
	東北 全国								
把握する時期		当該年度中 月		翌年度 月		翌々年度 月			

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 極良食味新品種の効果的な市場デビューに向け、生産対策やPR戦略の策定を進める必要がある。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 極良食味新品種の市場デビューにより、プライスリーダーとして本県産米のブランド化を牽引し、県産米の販売額を増加させることが期待される。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

水稻の極良食味品種開発については、県農業試験場がこれまでも主導していることに加え、平成34年の本格デビューに向け、生産対策、流通販売対策を官民協働により推進することで、品種の普及定着とPRを効率良く実施していく必要がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業      その他